

ライフサイクル思考が生み出す新たな環境価値 ～建築物ライフサイクルカーボン評価制度の可能性～

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、建築物のライフサイクルを通じたCO2等排出量(LCCO2)の評価・削減を促進するための制度検討が急ピッチで進められています。建築分野は関係業界の裾野が広く、LCCO2削減に向けて、設計者、施工者のみならず多様な主体が連携して取り組むことが重要です。

本シンポジウムでは、国の施策の最新動向を紹介するとともに、建築物のサプライチェーンに関わる不動産、金融、素材・建材メーカー等のステークホルダーと共に、制度の具体化に向けた課題と展望を議論します。

日時	2026年7月13日(月) 13:30~16:30		
会場	経団連ホール(千代田区大手町1-3-2 経団連会館2階) *当日のオンライン配信はありません。		
主催	国土交通省、経済産業省	共催	(一社)日本経済団体連合会、(一財)住宅・建築SDGs推進センター
協賛	住宅・建築SDGsフォーラム		
参加費	無料	定員	280名
プログラム	※今後変更することがあります。(以下、敬称略。)		

開会挨拶 13:30~13:40
宿本 尚吾 国土交通省 住宅局長
伊藤 禎則 経済産業省 GXグループ長
(調整中 (一社)日本経済団体連合会)

基調講演 13:40~14:00
建築物ライフサイクルカーボン評価のこれまでとこれから
伊香賀 俊治 建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を促進する制度に関する検討会 座長
ゼロカーボンビル推進会議委員長、(一財)住宅・建築物SDGs推進センター 理事長

情報提供1 14:00~14:10
GXをめぐる情勢とGX需要創出施策について
河野 孝史 経済産業省 GXグループ GX推進企画室長

情報提供2 14:10~14:20
有価証券報告書におけるサステナビリティ情報開示・保証制度の導入(改正金融商品取引法案)
小長谷 章人 金融庁 企画市場局企業開示課長

情報提供3 14:20~14:50
建築物ライフサイクルカーボン評価制度の創設(改正建築物省エネ法案)
高木 直人 国土交通省 住宅局参事官(建築企画担当)

途中休憩 14:50~15:00

パネルディスカッション 15:00~16:25
建築物ライフサイクルカーボン評価が生み出す新たな価値
モデレーター : 清家 剛 東京大学大学院教授、ゼロカーボンビル推進会議WG主査
パネリスト(五十音順) : 江里口 玲 太平洋セメント(株) 執行役員 研究開発本部 副本部長
砂田 雄太郎 (株)サイプレス・スナダヤ 代表取締役社長
平川 智久 日本製鉄(株) 環境政策企画部 首席主幹
松野 健太郎 三井不動産(株) サステナビリティ推進部長
山我 哲平 (株)みずほ銀行 サステナビリティ企画部 担当部長

閉会挨拶 16:25~
今村 敬 内閣官房 内閣審議官

申込方法 下記URL又は、右の2次元コードからお申し込みください。

<https://form.run/@lca2026>

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外には使用いたしません。

お申込み2次元コード



問合せ先 (一財)住宅・建築SDGs推進センター(IBECS) 住宅・建築SDGsフォーラム事務局
電話: 03-5213-4191(平日 10:00~17:00) メールアドレス: sdgsforum@ibecs.or.jp